

# ヘルパーだより

《法人理念》 あたたかい手 やさしい心で  
つなげよう 福祉の輪  
《経営方針》 おもいやりと 笑顔の介護で  
地域福祉を支えます

【本拠地】魚沼市堀之内4327番地1  
堀之内社会福祉センター内 TEL:025-794-6207

【守門・入広瀬出張所】魚沼市須原1237番地1  
守門健康センター内 TEL:025-797-2262

今年の冬は大雪に見舞われましたが、ようやくあたたかな春の日差しとなってまいりました。雪消えの早い場所ではふきのとうやつくしが顔を出しはじめ、生き生きとした自然の息吹を感じることができます。

皆さまには、日頃より当事業所をご利用いただき、本当にありがとうございます。新年度の管理者からのご挨拶と、職員の異動がありましたのでお知らせいたします。



管理者 中村 容子

日頃より当訪問介護事業所の活動にご理解、ご協力いただきありがとうございます。異動により体制は変わりますが、社協ヘルパーは「**技術＋笑顔**」をもって、ご利用者様のところへ伺います。今年度もどうぞ宜しくお願い致します。



馬場 洋子

この度、**守門・入広瀬出張所**に異動となりました。11年間、本拠地でお世話になりありがとうございました。たくさん学ばせていただき、良い経験になりました。4月より守門・入広瀬地区でも皆様のお手伝いができるように頑張りたいと思います。よろしく宜しくお願い致します。



中林 直美

この度、**守門デイサービスセンター**に異動となりました。毎日、利用者様の「ありがとの」「また来ての」の温かい言葉に励まされ、また新たな道に進む活力になりました。1年11か月という短い間でしたが、大変お世話になりました。





藤塚 久美

4月より、伊米ヶ崎デイサービスセンターから本拠地へ異動となりました。久しぶりにお会いできる方もいらっしゃるかと思います、楽しみにしています。よろしくお願い致します。

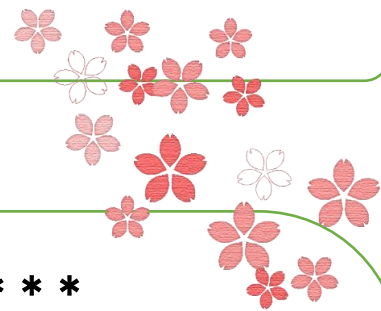
異動となりました職員はこの春からそれぞれの場所で、異動のなかった職員は引き続き頑張っておりますので、今後ともよろしくお願い致します。

<退職者のおしらせ>



坂西 悦子

小出地区担当17年、長い間お世話になりました。皆様お元気でお過ごしください。



\*\*\* 介護まめ知識 \*\*\*

今回は、「嚥下障害」について取り上げます。

嚥下障害の症状でやっかいなのは、飲み込んだ食べ物が食道ではなく気管に入ってしまうことです。肺にまで入ってしまうと、そこで細菌が広がって肺炎が起こるリスクが高まります。嚥下障害を見分けるポイントとして主なものは、

- ①食事中によくむせるようになった
- ②食後に声が枯れたり、咳が出たりする
- ③飲み込んだ後も、口の中に食べ物が残っている
- ④食べ物がのどにつかえるような感覚がある

上記のような気になる症状に気付いたら、主治医に相談することをおすすめします。

普段からできる対策としては、症状が重くない場合には、まず食べ物を工夫することが有効です。

- ・ パサパサした食べ物は片栗粉やゼリーなどでとろみをつける
- ・ かみ切りにくい食べ物は小さくカットする
- ・ 汁気の多い食べ物は少量ずつ盛る

食後の歯磨きなどお口をケアすることも大切です。うまく飲み込めないために口の中に食べかすが残って細菌が繁殖しやすく、それらの細菌が肺炎の原因にもなるからです。

